

小瀬川の概要

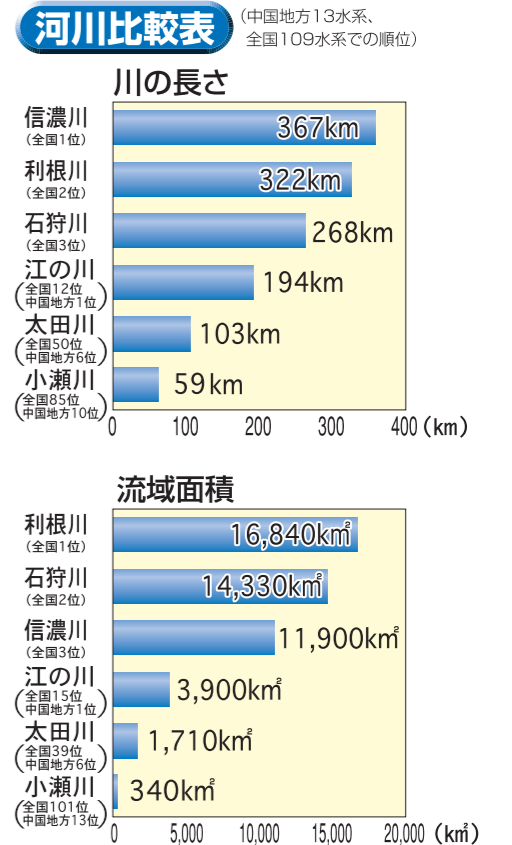
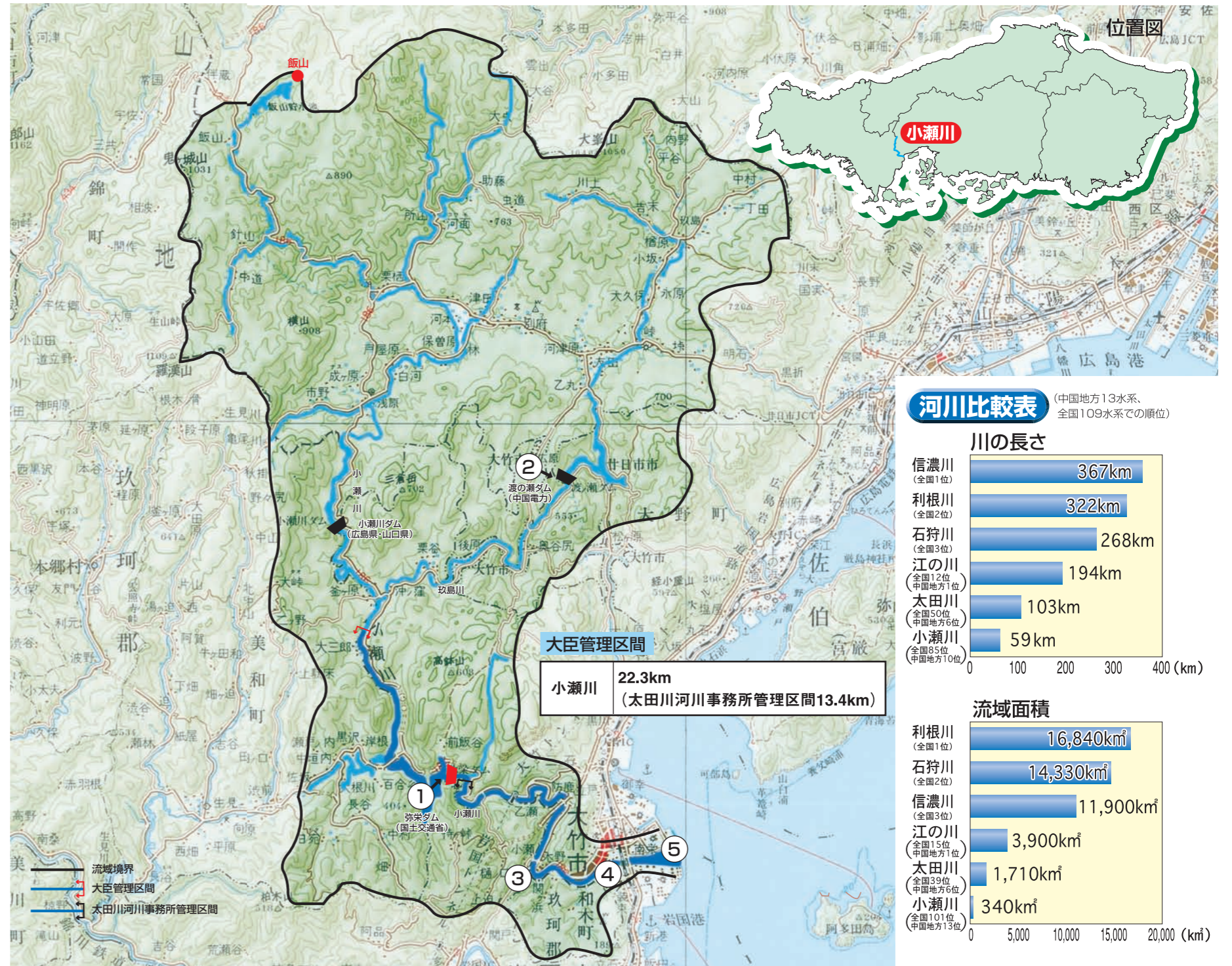
小瀬川は、広島県西部の飯ノ山に源を発し、狭隘な山間を南下しながら主要支川玖島川と合流した後、「弥栄湖」付近で流れを東向きに変え瀬戸内海に注ぐ流域面積約340km²、幹川流路延長約59kmの一級河川です。流域は、大竹市、廿日市市、岩国市、和木町の3市1町にまたがっています。

小瀬川の上流部は、中国地方でも雨の多い地域で、羅漢峡、弥栄峡などの景勝地が多く見られます。

下流部は、古くから安芸の国(広島県)と周防の国(山口県)の国境の国として、歴史を刻んでいます。流域には、西国街道の「木野の渡し場跡」や吉田松陰が安政の大獄で江戸に護送される時詠んだ歌碑などがあります。また、子どもたちの健やかな成長を祈る伝統行事「ひな流し」が四箇所で行われています。



ひな流しの風景 (穂仁原)



①弥栄ダム (国土交通省)

弥栄ダムは、洪水調節、河川環境の保全、水道用水・工業用水の供給、発電を目的として小瀬川水系小瀬川に建設された多目的ダムです。昭和48年より建設工事に着手し、18年の歳月を経て平成3年に竣工しました。中国地方のダムでは温井ダム(堤高156m)に次いで第2位の高さ、総貯水容量では第3位の大きさを誇っています。

ダム諸元 (型式：重力式コンクリートダム)

■ 堤高	120m	■ 集水面積	301km ²
■ 堤頂長	540m	■ 総貯水容量	112,000,000m ³
■ 堤体積	1,550,000m ³	■ 有効貯水容量	106,000,000m ³



② 渡の瀬ダム (中国電力(株))



③ 両国橋付近 (小瀬川5K付近、下流より望む)



④ 大和橋から中市堰



⑤ 栄橋から大和橋

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分1地勢図、5万分1地形図を複製したものである。(承認番号 平18 中複 第265号)